

日なた歴史通信

Vol.11

2024.11

立山町歴史交流ステーション日なた
〒930-3213 立山町日中上野 83
☎076-462-2387
✉ tateyama-hinata@ma.net3-tv.net



開催中

ミニ企画展(2)

「小山富士夫の越中瀬戸窯発掘調査」展

昭和17年(1942)、東洋陶磁の専門家として著名な小山富士夫氏により行われた越中瀬戸窯の発掘調査のことを知る人は少ない。この調査は、どのような理由で行われたのか、その遺物はどこにあるのか、について明らかにします。

会期 令和7年4月27日(日)まで

学芸員による解説会 12/1(日)、2/15(土)、3/2(日)、3/10(月)、
(10:30~、14:30~) 4/19(土)、4/27(日)

休館日 11/23(土・祝)、12/29(日)~1/3(金)、1/13(月・振)、2/11(火・祝)、2/23(日・祝)、
2/24(月・振)、3/20(木・祝)

古文書教室第6回を開催しました

11月7日(木)の古文書教室では、襖ふすまの下張り文書剥はがし体験を行いました。
「下張り」とは、襖や屏風の表紙(上張り)の下に補強や断熱を目的として何層にも貼り重ねられた和紙のことで、その和紙には反古紙ほこが使用されていました。この反古紙の古文書のことを「下張り文書」と呼んでいます。

下張り文書についての解説のあと、参加者の皆さんが古文書を剥がす作業を体験し、水を付けた刷毛や筆を使って和紙を湿らせて糊を緩め、和紙の状態を確認しながら、1枚ずつ慎重に剥がしていきました。

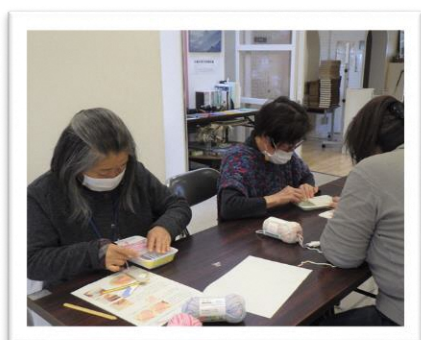
皆さん初めての体験で、作業中は「難しい」「なかなか剥がれない…」という声も聞こえてきましたが、集中しつつも楽しみながら作業されていました。



はたおり体験会

11月10日(日)、7名の方にトレーを使ったかんたん機織り^{はた}でコースター作りを体験してもらいました。どんな色の糸を使うか、頭を悩ませて選んだ後、コースター作りにとりかかりました。最初の糸の始末が少し難しかったようですが、要領がわかってからは皆さん手早く作業を進められ、それぞれ個性豊かなコースターができました。

また、機織り機ができる前の弥生時代の原始機の実演と体験も行いました。原始機は、「手が忙しくて難しい」、「少し前にあった足踏みの機織り機のほうが楽そう」という感想が出ていました。これを改善して今の機織り機ができ上がってきたということがよくわかりますね。



立山クラフトで勾玉づくり

10月26日(土)、「立山クラフト」が総合公園で開催され、日中上野公民館さんと一緒に日なたも参加しました。11名の方に勾玉づくりを体験していただき、自分だけのオリジナルの勾玉ができました。公民館さんのブースも大人気でした。



縄文ものづくり体験

8月25日(日)、「縄文ものづくり体験」を行いました。お子さんを含む6人と保護者が参加されました。皆さん、思い思いのものを粘土で形づくり、夢中になって楽しめたようでした。

